



エランドの赤ちゃんが親子でサバンナエリアにデビューします！

2025年6月13日（金）



サバンナエリアデビュー練習の様子

アドベンチャーワールド（和歌山県白浜町）で2025年4月30日に、8年ぶりにエランドの赤ちゃんが誕生しました。これまで、エランドの赤ちゃんは母親と限られたエリアで過ごしておりました。赤ちゃんの順調な成長に伴い、アミメキリンやシマウマが暮らしているサバンナエリアへとデビューし、2025年6月13日（金）より、新しい生活がスタートします。

【エランドの赤ちゃん サバンナエリアデビューについて】

- 期 間：2025年6月13日（金）～
 - 時 間：午前10時30分～午後3時30分
 - 場 所：サファリワールド サバンナエリア（草食動物ゾーン アフリカ区）
- ※天候や動物の体調等により、公開内容を変更または中止する場合がございます。

【エランドの赤ちゃんについて】

- 出生日：2025年4月30日
- 頭 数：1頭
- 性 別：オス
- 親情報：
 - 母親 2017年6月16日 アドベンチャーワールド生まれ（7歳）
 - 父親 2015年8月27日 九州自然動物公園生まれ（9歳） 2020年1月22日に搬入



【出産の背景】

アドベンチャーワールドでは、2018年にオスが死亡したため、新たないのちをつなぐために、次のパートナーとなるオスを迎え入れる準備を進めてまいりました。そして2020年1月、九州自然動物公園より新たなオスが来園しました。この出会いをきっかけに、いのちが受け継がれ、今回の赤ちゃんの誕生へとつながりました。

【飼育頭数】

4月30日に誕生した個体を含め、4頭（オス2頭、メス2頭）を飼育しています。

【エランドについて】

- 分類：偶蹄目 ウシ科
- 学名： *Taurotragus oryx*
- 英名： Common Eland
- 生息地：アフリカ中部～南部
- 体長：2～3.5m
- 体重：300～1,000kg
- 食性：草食 アドベンチャーワールドでは乾草を与えています。
- 寿命：野生では15-20年
- 繁殖：妊娠期間は約270日で、通常1産1子
- 現状：IUCNレッドリストではLeast Concern（低リスク）に分類されていますが、一部の地域では農地の拡大や密猟、気候変動による乾燥化が影響し、個体数が減少傾向にあります。
- 特徴：エランドは、ウシに似た大きな体に対して長い首と細い顔立ちをもち、オス・メスともにねじれた太い角（60～100cm）を持ちます。首元にある「胸垂（きょうすい）」と呼ばれる皮膚の垂れ下がりが特徴的で、最大で2mのジャンプ力をもつ、力強い脚を備えた草原の大型草食動物です。

【アドベンチャーワールド「SDGs宣言・パークポリシー」】 <https://www.aws-s.com/parktheme-sdgs>

アドベンチャーワールドは、「いのちを見つめ、問い続ける。いのちの美しさに気づく場所。」として、すべての生命にSmile（しあわせ）が溢れる豊かな未来の地球の姿をパークで体現します。パークという“小さな地球”を通して、関わるすべての人の人生が豊かになるように、動物たちの生命がずっとつながっていくように、自然や資源が循環し再生するように、未来のSmileを創り続けていきます。

【SDGsについて】

SDGsとは「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」のことです。社会が抱える問題を解決し、世界全体で2030年をめざして明るい未来を作るための17のゴールと169のターゲットで構成されています。2015年9月、ニューヨーク国連本部において193の加盟国の全会一致で採択された国際目標です。

